

太宰府市人権尊重のまちづくり推進審議会会長

くりやま としゆき
栗山 俊之 さん



筑紫女学園大学に勤め、人権に向き合いつつ太宰府市に関わっている者として紙幅をいただきました。また、住職を兼務しているのですが、この地で創作を続けられた尊敬する彫刻家、冨永朝堂先生が拙寺のご門徒で、幼い頃から深いお言葉を聞かせていただいております。今もご家族には大変お世話になっております。少し書かせていただきます。

今、まず私たちは、コロナ禍の中で、大変な暮らしを強いられている人がいらっしやるということに思いを馳せなければなりません。ニューノーマルと語られる新たな生活様式において、私的な生活の中に引き籠りがちな私たちに、コロナ禍に打ちひしがれている方々の姿は見えていでしょうか。ソーシャルディスタンスがそのまま、困難な状況にある人びとへの距離となっていないでしょうか。想像してみたいと思います。大変な生活を送っている人が、「今は誰もが皆、大変なのだから」と、「助けて」と声を挙げることを「自粛」しているのではないかと。

コロナ禍は、私たちの社会に、関係性の希薄化という腐食をもたらしています。だからこそ、私たちは今一度「どう生き合うのか」ということについて聞きたいと思います。

特集

- 私のだざいふ、市政ニュース … 2～3
- 令和3年6月市議会市長提案理由説明 …… 4～5
- 新型コロナウイルスワクチンの接種について …… 6
- 7月は同和問題啓発強調月間です …… 7
- 災害リスクに備えた対応について …… 8～9
- ランチサービス無料試食会を開催しています …… 10
- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費を補助します …… 11
- 後期高齢者医療保険のお知らせ …… 12～13
- 介護保険料の軽減制度に関するお知らせ …… 14
- 市からのお知らせ …… 15～22
- 連載 …… 23～31
- なんでも情報コーナー …… 32～39
- 太宰府の文化財 …… 40

市政ニュース

子ども・学生の協力 小中大学生がワクチン接種予約をサポート！

本市では、新型コロナウイルスワクチン接種について、「スムーズな予約」「スムーズな移動」「スムーズな接種」という3つのコンセプトをもとにした「太宰府モデル」を構築し、総力を挙げて実践して来ました。

電話予約に比べてスムーズに予約が可能なネット予約を進めるため、お困りの高齢者の方々の予約を、小中学校、大学生の皆さん方に手伝ってもらい取り組みを行い、全国放送でも取り上げられました。

太宰府中学校では、おじいさんやおばあさんはもちろん、ご近所の高齢者の方々のサポートも行ってもらおうと、一人一台配っているタブレットを使ったICT授業も兼ねて実際に予約を体験する授業が行われました。

少しでも高齢者のお役に立ちたいと、生徒のみなさん方は真剣に取り組んでいました。

本市の65歳以上のワクチン接種券については、一日置きに分散郵送を行いました。電話予約は混雑しやすいので、このサポートは大変ありがたいことでした。



タブレットで予約入力を体験する生徒の皆さん

5月と6月の土日、2週間にわたり、市役所に予約サポート窓口を開設し、日本経済大学の学生の皆さん方にもサポートを行っていただきました。

大学生に入力をサポートしてもらった方は、「電話は混雑していました。一方、ネット予約はとても苦手だったので、このようなサポートは大変助かります」と話していました。

少しでもスムーズな予約が行われ、その後のスムーズな移動スムーズな接種につなげていけるよう努力してまいります。



予約入力サポートのようす